

2011年12月18日（日）第28回中日理論言語学研究会

シンポジウム「（続）文法の在り方を問う」

日本語と中国語の「リアリティ」について

定延利之（神戸大学）

sadanobu@kobe-u.ac.jp

程莉（神戸大学大学院生）

bonnie2498@163.com

1. はじめに

本発表は、存在動詞「いる」と「ある」の区別、数（単数・複数）の区別、他動構文、受動構文など、日本語と中国語のさまざまなことばに、或る種の「リアルさ」が関わっていることを観察し、その観察を通して、リアリティを適切に扱える文法の在り方を、いわゆる機能主義的な考え方の検討も含めて論じようとするものである。

2. 数の一致(number agreement)をめぐる言語差とは？

出発点として、「数の一致」をめぐる中国語・英語・日本語の差を取り上げたい。

「数の一致」は、英語では守るべき文法規則であるのに、中国語では逆に守ってはいけないように見える。また、日本語では、守っても守らなくてもいいように見える。

(1) 首尾一貫性(consistency)の貫徹？ 冗長？

- a. *five student
- b. students
- c. five students

(2) 冗長性(redundancy)の排斥？ 首尾一貫性に欠ける？

- a. 五个学生
- b. 学生們
- c. *五个学生們

(3) 融通性？ 場当たりの？

- a. 5人の学生
- b. 学生たち
- c. 5人の学生たち

3. 機能的オーバーキルとその軽減

こうした言語差に対して、すぐに思いつかれるのは「機能的オーバーキルとその軽減」(Durie 1995)を持ち出す説明であろう。

オーバーキル：殺傷力過剰の殺害（アリ 1 匹を殺すのにミサイルを使う）

機能的オーバーキル：「言語はコミュニケーションにおいて情報を伝達するためにしばしば使われる」「その場合、言語表現は情報伝達の機能を持つ」と考えた場合、言語表現は何としても明確なものでなければならない。発話の何箇所かが聞き取れなくても、メッセージや概念がちゃんと伝わるように、話し手は言語表現の不明確性を、念には念を入れて、過剰につぶしておかなければならない。

機能的オーバーキルの軽減：機能的オーバーキルは、殺傷力が過剰であるだけに余計な負担がかかるので、無制限におこなうことはできない（例：干魃地帯に生きる魚）。

本発表は、この説明の根本的な発想を認めながらも、その有効性に留保を付けようとするものである。

そのために本発表は、言語類型論の知見(Croft 1990)に、或る種の「リアルさ」に関する発表者らの観察を加え、アニマシーの階層をこれまで考えられていた以上

に豊かなものにするによって、日本語と中国語と英語の上記の違いが実は表面的なものであって、これらの言語の文法どうしが根本的に違うわけではないということを示す。

4. アニマシーの階層

アニマシー (animacy, 有生性) とは「生きている程度」というイメージ上の程度である。したがってそこには或る種のリアリティが関わる。(Croft 1990, 定延2006b)

- (4) a. 人がいる。
b. *人がある。
- (5) a. *木がいる。
b. 木がある。
- (6) a. *旧型の飛行機なら倉庫に2機いる。
b. 旧型の飛行機なら倉庫に2機ある。
- (7) a. 急げば間に合うかも。飛行機はまだ滑走路にいるんでしょ。
b. ??急げば間に合うかも。飛行機はまだ滑走路にあるんでしょ。
- (8) a. いまここに希望者がいます。
b. *いまここに希望者があります。
- (9) a. 希望者がいれば、あとでまとめて報告してください。
b. 希望者があれば、あとでまとめて報告してください。
c. ところが.....、たった一人、この歌をきいた、不幸な人があったのだ!!
[藤子・F・不二雄『ドラえもん』30, 小学館, 99.]
d. 麗澤大学に井上あり
- (10) a. 田中さんって、ひょっとしたら、佐藤さんのことすきなのかも。
b. 田中さんって、ひょっとしたら、佐藤さんすきなのかも。

- (11) a. ??田中さんって、ひょっとしたら、スイカのことすきなのかも。
 b. 田中さんって、ひょっとしたら、スイカすきなのかも。
- (12) a. ?田中さんって、ひょっとしたら、タモリのことすきなのかも。
 b. 田中さんって、ひょっとしたら、タモリすきなのかも。
- (13) a. 田中さんって、ひょっとしたら、私のことすきなのかも。
 b. ??田中さんって、ひょっとしたら、私すきなのかも。

この種の（と思える）リアリティはアニメシー以外にも、他動性や受動性、その他に関わる。

- (14) a. ビール *が／ を 飲む。
 b. ビール が／ を 飲みたい。
 c. ビール が／ を 飲める。
 Cf. ビール *が／ を 飲みたがる。

- (15) a. 私は子供に騒がれた。
 b. *我被孩子吵了。
 c. 我被孩子吵醒了。
 →言わないといけない～言うより自然～言わなくてもイメージされる

- (16) a. [外国の空港からリムジンバスで見知らぬ街へ]
 なんか、レストランがしょっちゅうあるね。
 b. [自宅付近の様子を人に教える]
 ??うちの近所はレストランがしょっちゅうある。
 c. こうして散歩してみると、うちの近所はレストランがしょっちゅうある。

但し、次の「リアリティ」は、別種として区別する方がよいだろう。

- (17) a. ??彼は細い髪の毛だ。
 b. ?彼は何か細い髪の毛だ。
 c. 彼はけっこう細い髪の毛だ。

[cf. 井上・金 1998, 澤田 2010]

- (18) a. ??彼は小さな手だ。
 b. この赤ちゃんは、ちっちゃな手だねえ！

[cf. 井上・金 1998, 澤田 2010]

リアリティをふまえたアニメシーの階層は次のようになる (Croft (1990)を少しだけ細かく)。

- (19) a. 1人称・2人称の代名詞で表される人間 グアラニ語 (Guarani)
 b. 3人称の代名詞で表される人間 中国語 (“*本人们”“当事人们”)
 c. 名詞で表される特定性の高い人間 日本語 (「本人」「当人」)
 d. 名詞で表される特定性の低い人間 ティウィ語 (Tiwi)
 e. 動物 カリア語 (Kharia)
 f. その他

- (20) 名詞より代名詞の方がリアル

- a. ??連絡先は田中という人ね。で、彼はいまどこ？
 b. 連絡先は田中という人ね。で、その人はいまどこ？

5. アニメシーの階層における同格構造の位置づけ

アニメシーの階層上には、ことばの構造を反映させることができるのではないか。より具体的には、修飾－被修飾構造よりもアニメシーの高いものとして、同格構造を位置づけることができるのではないか。

- (21) a. 3人の娘たち
 b. 娘たち3人 (低高高低低・低高高低)

c. 兵庫県南部（低高高低低・高低低）

(22) a.?? 3人の私たち

b. 私たち3人

(23) 1人増えるごとにそれだけの追徴金をとられるなら、あなた方は2人だからまだいいとしても、3人の私たちは大変なことになってしまう。

(24) a. 或る日、村に、見知らぬ3人の娘たちがやってきた。

b.??或る日、村に、見知らぬ娘たち3人がやってきた。

6. アニマシー階層と数の一致

アニマシーの階層は、数の一致を眺める視点を提供してくれる。数の一致は、アニマシーが高い場合は成立しやすく、アニマシーが低い場合は成立しにくい。

(25) a. 2人の男

b. 2人の男たち

(26) a. 娘3人

b. 娘たち3人

(27) a. *私3人

b. 私たち3人

(28) a. 两个男人

b. *两个男人們

(29) a. 女孩儿三个（、男孩儿四个）

b. *女孩儿們三个

(30) a. *我三個人

b. 我們三個人

- (31) a. 我（們）倆 咱（們）倆 他（們）倆
b. 咱（們）仨 cf. *我仨 我們仨 *他仨 他們仨

(32) 今年春节孩子們五个（全）都回来了！

(33) 这是今年生日的时候孩子們三个一起给我送的生日礼物。

(34) 姐妹們几个都到齐了。

(35) 金毛犬的五个兄弟們（ビデオのタイトル）

[http://v.youku.com/v_playlist/f4199547o1p6.html]

(36) 2010本命年 跟我一样属虎的三个兄弟們（文章のタイトル）

[<http://bbs.paipai.com/forum.php?mod=viewthread&tid=638193>]

(37) 我的39个孩子們（文章のタイトル）

[<http://bbs.pep.com.cn/viewthread.php?tid=307860&page=6>]

(38) 为了灾区20个孩子們（文章のタイトル）

[http://blog.sina.com.cn/s/blog_48edc0680100d6rm.html]

(39) 一个爸爸和他的300多个孩子們（文章のタイトル）

[http://www.chinajilin.com.cn/content/2009-06/26/content_1625188.htm]

中国語は、数の一致を起こしてはいけないわけではない。アニマシーが極端に高い場合、具体的には人間代名詞を含んだ同格構造の場合、数の一致は原則として起きねばならない。

「数の一致は、アニマシーが高いほど生じやすい」という傾向は日本語・中国語・英語を通じて認められるものであり、言語ごとに違っているのは数の一致がアニマシーのどこまでの低さに耐えられるか（つまりアニマシーがどこまで低くなった段階で数の一致が任意的になり、さらに不自然になるか）という境界線の引かれ方である。

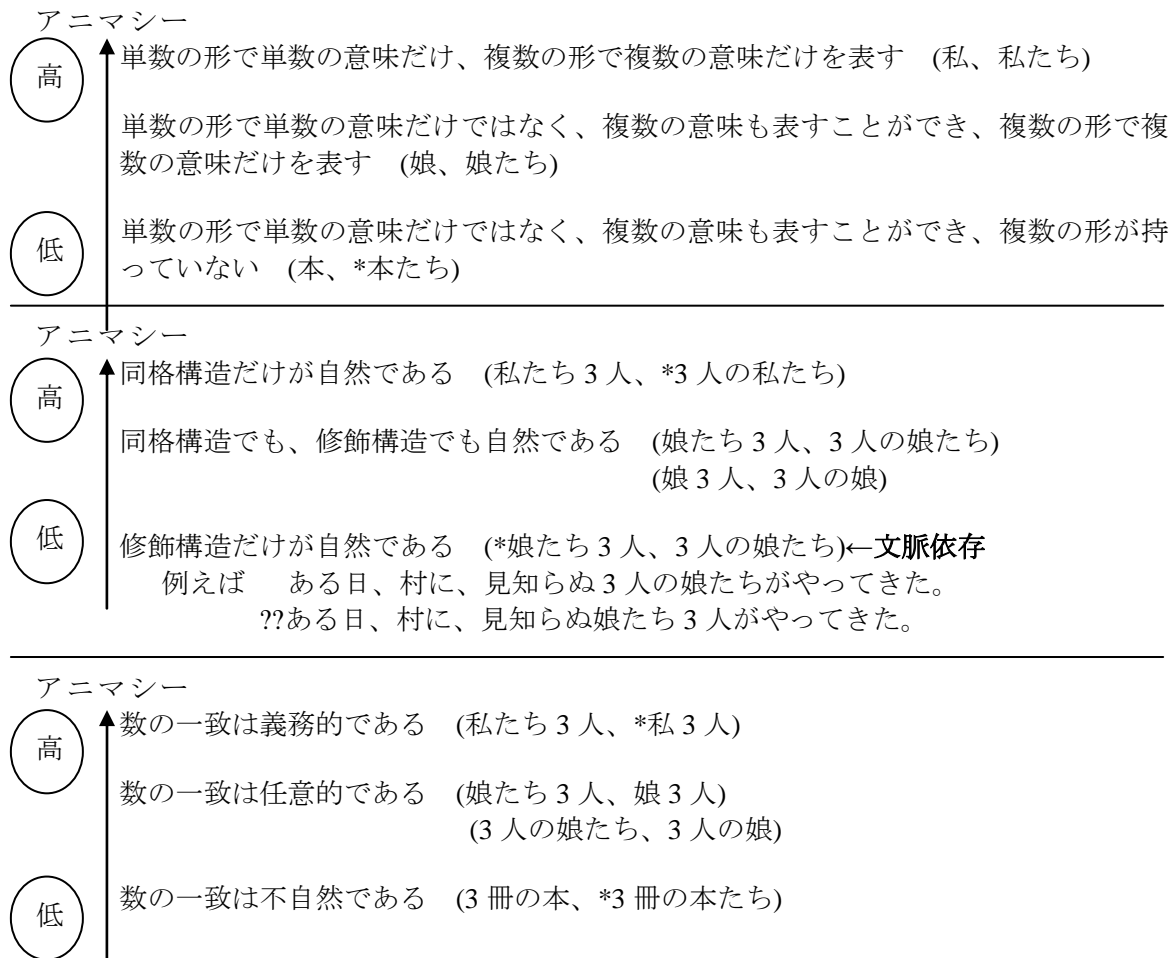


図1: アニマシーの階層のまとめ

7. 「機能的オーバーキルとその軽減」再考

或る言語における文法現象（重音脱落, haplology）と、別の言語における誤用現象（付けそびれ間違い, no-marking error）がしばしば重なること（たとえば Stemberger 1981; Menn & MacWhinney 1984; Stemberger & MacWhinney 1986）を説明する上で、機能的な発想が役立つことがあるという可能性を本発表は否定するものではない（くわしくは定延 2006cを参照）。「数の一致はアニマシーが高いほど生じやすい」という傾向も、たとえば「人間はアニマシーが高いモノには高い関心を寄せ、慎重に、曖昧性を排してしゃべりやすい」といった形で理解できるものかもしれない。

だが、この発想による説明は、各言語で境界線がどのように引かれるのかにつ

いては直接何も教えてくれない。そしてこの説明は、いまもっともらしく聞こえるだけでなく、いまとなつては不十分な観察であつたことが明らかな初期段階の観察（中国語は数の一致を起こしてはならない）でも、やはりもっともらしく聞こえていた。さらにこの説明は、「前節の観察はいまとなつては不十分な観察であつた」と言えるような、もっと進んだ観察の段階に我々が到達したとしても、もっともらしく聞こえるだろう。この説明は、説明されるべき観察が十分であつてもなくても、常に正しく聞こえてしまう。この説明は正しいものかもしれないが、十分なものではないのではないか。

8. 「同格的現象」としての数の一致

- (40) a. 走一个小时
- b. 走下去
- c. *走下去一个小时
- (41) a. 1時間歩く
- b. 歩き続ける
- c. 1時間歩き続ける
- (42) a. walk for an hour
- b. keep walking
- c. keep walking for an hour
- (43) a. 看這本書看到最後
- b. 看完這本書
- c. *看完這本書看到最後
- (44) a. 本を最後まで読む
- b. 本を読み終わる
- c. 本を最後まで読み終わる
- (45) a. read the book through to the end

- b. finish reading the book
- c. finish reading the book through to the end

(46) a.??他一輩子換了三次愛人。

b. 彼は生涯で妻が3回変わった。

c. He changed wives three times in his lifetime.

(47) 尤（もっと）も、その前四十歳台に一度、「これは事に依ると死病に罹ったのではないか」と思ったことがある。私は今日までに三度妻を変えているが、二度目の人と兵庫県魚崎の横屋に住んでいた昭和六七年頃、四十五六歳の時であった。[中略] 私が血圧に関して最初に警告を与えられたのは三度目の結婚後、即ち今の妻と同棲するようになってからで、五十歳前後の時であった。

[谷崎潤一郎『高血圧症の思い出』]

『度数余剰』という現象は、話題の人物の生涯をスキャン（scanning, 走査）して[春子→夏子→秋子]という具合に延べ3人の妻に順に思い当たることと、全体としてそれが「妻が変わる」という事柄だということが合体した、意味的「重複」を含んだ現象である（定延 2000）。この現象を中国語が起こしにくく、(32a)が不自然であることは、このような「重複」に或る程度必要とされる構造の同格性は、中国語の連用修飾では満たされないと考えれば、これまでの例と同じように説明することができる。

9. 補足

機能的オーバーキルとその軽減という考えの問題点は、『接ぎ木語』（定延 2001; 定延・黄 2004）など、他の現象を通して見ることもできる。だが、最も重要な部分（つまり、この考えは正しいかもしれないが、現象に対する説明として十分なものではないということ）については上で述べたことと重なるので、本発表では省いた。

*中国語のデータ判断については、王軼群先生（中国人民大学）、北京外国語大学日本学研究センターと神戸大学国際文化科学研究科の院生の皆さんにご協力いただいたところがある。もちろん、誤りはすべて発表者らの責任である。本発表は、日本学術振興会の科学研究費補助金（基盤研究(A), 23242023, 研究代表者：定延利之）の支援を受けている。

文献

Croft, William. 1990. *Typology and Universals*. Cambridge: Cambridge University Press.

Durie, Mark. 1995. "Towards an understanding of linguistic evolution and the notion "X has a function Y"", Werner Amrahm, Talmy Givon, and Sandra A. Thompson (eds.), *Discourse Grammar and Typology: Papers in Honor of John W.M. Verhaar*, Amsterdam/Philadelphia: John Benjamins, 275-308.

井上優・金河守 1998 「名詞述語の動詞性・形容詞性に関する覚え書——日本語と韓国語の場合」, 『筑波大学東西言語文化の類型論特別プロジェクト平成10年度(II)研究報告書』, 455-470.

Menn, Lise, and MacWhinney, Brian. 1984. "The repeated morph constraint: toward an explanation," *Language*, Vol. 60, No. 3, 519-541.

定延利之 1999 『よくわかる言語学』アルク.

定延利之 2000 『認知言語論』大修館書店.

定延利之 2001 「出来事としての語——接ぎ木語の動的構造をめぐって——」
音声文法研究会(編)『文法と音声3』くろしお出版, 83-105.

定延利之 2006a 『日本語不思議図鑑』大修館書店.

定延利之 2006b 「資源としての現実世界」益岡隆志(編)『条件表現の対照』くろしお出版, 197-215.

定延利之 2006c 「文章作法と文法」『國文學——解釈と教材の研究』, 第51巻, 第12号, 學燈社, 79-85.

- 定延利之 2008 『煩惱の文法 — 体験を語りたがる人びとの欲望が日本語の文法システムをゆさぶる話』筑摩書房.
- 定延利之 2009 『日本語教育能力検定試験に合格するための言語学22』アルク.
- 定延利之・黄麗華 2004 「日漢“畳合詞”的対比研究」『現代中国語研究』第6期, 15-21.
- 澤田浩子 2010 「「彼は親切な性格だ」と「彼は性格が親切だ」 — 中国語から日本語を考える」, 砂川有里子・加納千恵子・一二三朋子・小野正樹 (編) 『日本語教育研究への招待』, くろしお出版, 251-271.
- Stemberger, Joseph Paul. 1981. "Morphological haplology," *Language*, Vol. 57, No. 4, 791-817.
- Stemberger, Joseph Paul., and MacWhinney, Brian. 1986. "Form-oriented inflectional errors in language processing," *Cognitive Psychology*, Vol. 18, No. 3, 329-354.
- 田窪行則 1989 「名詞句のモダリティ」仁田義雄・益岡隆志 (編) 『日本語のモダリティ』くろしお出版, 211-233.
- 田窪行則 2010 『日本語の構造 推論と知識管理』くろしお出版.